

## 教育委員会会議 平成30年2月定例会 会議録

日 時	平成30年2月22日 (木) 13:30 開会 15:02 閉会	会 場	教育委員会室
出席委員	原田 良一 寺元 貴幸 森 尚美 尾島 邦昭		
出席職員	絹田学校教育部長 松尾生涯学習部長 忠政こども保健部長		
	戸田学校教育部次長(兼)企画調整官(兼)教育総務課長 朝田生涯学習部企画調整官		
	後藤生涯学習部次長(兼)スポーツ課長 小坂田生涯学習部次長(兼)文化課長		
	平井こども課長 松田学校施設課長		
	影山学校教育課長 丸山保健給食課長 安藤生涯学習課長		
	小川図書館長 尾島津山市史編さん室長 仁木教育総務課主幹		
	近藤教育総務課主任		
議 事	案 件	担 当 課	
1.開 会 2.教育長あいさつ 3.会議録署名者 について 4.前回会議録の 承認 5.教育長等の 報告  6.議 事 (1)議 案	津山市青少年育成センター運営審議会委員の委嘱及び解嘱について 津山市スポーツ推進基本計画の策定について	(生涯学習課) (スポーツ課)	
(2)協 議	平成29年度3月補正予算について 平成30年度当初予算について 津山市公民館条例の一部を改正する条例について 津山文化センター耐震補強及び大規模改修工事 工事請負契約について 津山市西エリア幼稚園・二宮公民館複合施設新築工事 工事請負契約について 津山市東エリア幼稚園新築建築工事 工事請負契約について	(各 課 ) (各 課 ) (生涯学習課) (文化 課 ) (こども課・ 生涯学習課) (こども課)	
(3)報 告	平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について 調べる学習コンクール津山市推薦作品の全国審査結果について 津山市スポーツ大会・合宿誘致事業補助金について 勝北総合スポーツ公園プール事故に伴う損害賠償について 平成30年度公立幼稚園運営体制について	(学校教育課) (図書館) (スポーツ課) (スポーツ課) (こども課)	
7.その他 (1)各課からの お知らせ	ネーミングライツについて 第36回津山市文化財調査報告会について	(スポーツ課) (文化 課 )	
(2)次回定例会の 開催について	津山市教育委員会会議3月定例会の日程について 平成30年3月22日(木)午後1時30分から		
(3)その他			
8.閉会			

傍聴者 0名

# 教育委員会会議 平成 30 年 2 月定例会 会議録

( 13 : 30 )

## 1. 開 会

## 2. 教育長あいさつ

## 3. 会議録の署名者の件について

津山市教育委員会会議規則第 15 条第 2 項の規定による。

## 4. 前回会議録の承認

全員賛成

## 5. 教育長等の報告

今回は該当なし

## 6. 議事

### (1) 議案

#### 津山市青少年育成センター運営審議会委員の委嘱及び解嘱について（生涯学習課）

概要説明

委嘱者は 4 名。高橋委員は、津山市青少年育成指導委員連絡会会長の死去による交代。会長の死去は、昨年 3 月 14 日。石原委員は、岡山県津山児童相談所所長の交代によるもので、前所長の交代は、昨年 3 月 31 日。高橋委員、石原委員の委嘱遅延については、大変、申し訳なく思っている。今後、気をつけますので、よろしく願います。赤本委員は津山青年会議所心の教育推進委員会委員の交代によるもの。長滝委員は、津山市 P T A 連合会役員の交代によるもの。いずれの委嘱者も委嘱期間は平成 30 年 3 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日まで。解嘱者は、竹内委員で、亡くなられた平成 29 年 3 月 14 日付での解嘱。浅田委員は平成 29 年 3 月 31 日付岡山県津山児童相談所所長の交代による解嘱。松本委員と多胡委員においては委員の交代で、平成 30 年 2 月 28 日付で解嘱する。

全員の挙手により原案通り可決承認

#### 津山市スポーツ推進基本計画の策定について（スポーツ課）

概要説明

「津山市スポーツ推進基本計画（案）に対するご意見の概要と考え方」についてまず説明する。基本計画については、昨年 12 月教育委員会協議会でスポーツ推進審議会から答申をいただいた時点の内容の説明をしている。それ以降に、パブリックコメントを行った。その内容を説明する。意見を募集した時期は、1 月 11 日から 2 月 5 日までの約 1 ヶ月間で、3 名の方から電子メールをいただいた。主な内容は、1. 審議会の内容等をどのように公表しているのかとの質問に、主な経過については、資料編として添付するが、審議内容は意志形成過程であり公表していない。2. アンケートで、地域スポーツ行事の割合が減っているが、このことについてどのように対応するのかとの質問に、それぞれのページに載っていることを示しているが、特に 26 ページのスポーツを通じた地域の活性化の中で示している。4. 学校との連携の中で、部活の指導者の考え方はとの質問に、社会教育におけるスポーツ分野についての計画である。学校教育における具体的な取り組みについては記載していない。6. 「夢」と「希望」はどういうものかとの質問に、津山市第 5 次総合計画が基本となっており、「夢と希望の花が咲き誇るまち津山」がひとつのテーマになっているので、それに準じたかたちで「夢」と「希望」の実現をスポーツを通じて行う。7. 8. 9. については、公認プール、グリーンヒルズ、健康増進のための新たな施設整備についての質問で、このことについては、この計画は基本理念であって、実地計画は記載していない。要望としてお聞きしたい。このような返答をしている。この内容をスポーツ審議会に協議をしていただき、直接、計画の内容を加筆、修正する箇所はないという回答をいただいている。それを前提に、審議をしていただきたい。続いて、概要を簡単に説明する。この計画は 5 章に分かれ、第 1 章は 1. 計画の趣旨、2. 基本的な視点、基本的な視点は、フローチャートにも書いているが、まずは、国の基本計画、岡山県の条例がくる。努

力目標として、策定をなさいと指針がある。その下支えになるのが、津山市スポーツ振興都市宣言である。さらに、これに基づいて第5次総合計画があり、教育振興基本計画（第2期）がある。こういったものが合わさり、反映した形で基本計画を立てる図式になる。計画期間については、平成30年から平成39年までの10年計画で、5年間の前期と後期に分かれている。第2章、スポーツの現状と課題で、1.スポーツとは、2.社会環境の変化、3.昨年の夏に約600名の方からいただいたアンケートの内容、4.前回の10年計画の成果と課題、5.スポーツ施設の状況としている。第3章に計画の基本構想、計画の体系を示している。基本理念を、「スポーツを通じて咲かせよう 夢と希望の花が咲き誇るまち つやま」を銘打って、(1)生涯スポーツの推進、(2)スポーツ環境の整備、(3)競技力の向上、(4)スポーツを通じた地域の活性化、それぞれに対して具体的方策を載せて、計画の体系としている。第4章に、4つの基本施策に対する具体的な取り組みと目標数値を設定して推進していきたい。1.生涯スポーツの推進では、スポーツ団体の会員や指導者数、スポーツ教室の参加者数。2.スポーツ環境の整備は、スポーツ施設の年間利用者数。3.競技力の向上は、全国大会等の出場者数。4.スポーツ施設を通じた地域の活性化については、年間に行なうスポーツ大会の参加者数。こういったものを目標数値としてあげている。まとめとして第5章に計画の推進と評価について、スポーツ分野に限らず、各方面、分野の連携が欠かすことができない。市民・地域との連携、スポーツ関係団体との連携、学校との連携、行政の様々な分野の施策との連携、企業・民間スポーツ関係団体との連携、こういうようなものとの連携の重要さをあげている。最後に締めくくりとして、計画の評価については、毎年度、諮問・答申をいただいたスポーツ推進審議会に対して、報告意見を求め、目標とする数値が達成できるように目標管理に努める。そして、5年間を1つのスパンとして中間考査を行い、後期における施策実施に反映させることで、締めくくっている。

冊子については、お手元にあるとおり。12月教育委員会協議会后、市内部の協議体、先ほどのパブリックコメントを経て決定したものの。基本的に、大きな記載内容の変化はない。資料編を含めて約50ページ程度になる。

全員の拳手により原案通り可決承認

## (2) 協議

### 平成29年度3月補正予算について（各課）

#### 概要説明

##### （学校教育部）

各課とあるが、部単位で説明する。平成29年度津山市一般会計第7次補正予算のうち、学校教育部に係る補正予算について説明する。1行目の「学校ICT環境整備事業」から11行目「中学校保健事業」までが学校教育部の所管になる。学校教育部全体では、今回の3月補正（7次補正）で11事業、177,037千円の減額補正を行っている。今回の補正予算で、増額補正となっているのは、3行目、小学校一般管理費の1,454千円マルイ・エンゲージメントキャピタル様からいただいた寄付金を予算計上したもののみで、その他の補正予算については、いずれも減額補正になっている。これは、学校給食事業などの事業費の確定によるもの、小中学校の施設整備事業の入札結果や見積もり合わせの結果などにより確定した不用額の減額を行ったもの。

また、非営利活動法人マルイ・エンゲージメントキャピタル様からの寄付は、同法人の地域社会貢献事業の一環として行われるもので、今回は1,454千円のご寄付をいただいた。寄付に際して「市内小学校の活動補助金」として活用する目的で行われるもので、歳入歳出予算計上した後、各小学校の図書関係経費の購入費にあてる予定。マルイ・エンゲージメントキャピタル様からの寄付は、今回が5回目となり、累計は4,206,705円になる。

続いて、平成29年度津山市一般会計第8次補正予算のうち、学校教育部に係る補正予算について説明する。8次補正は、平成30年度に実施予定の小学校施設整備事業の一部を平成29年度の国の補正予算に係る学校施設環境改善交付金事業として実施するため、平成29年度に平成30年度の予算を一部前倒して予算化するもの。今回は、大崎小、勝加茂小、新野小、高田小、河辺小が対象になり798,334千円を全額平成30年度に繰り越して実施する。

##### （生涯学習部）

続いて、生涯学習部所管の平成29年度津山市一般会計第7次補正予算を説明する。生涯学習部においてもそれぞれ事業費の確定、決算見込み額による減額が主なものになる。その中で、主だったものを説明する。ここで増額補正するものが3点ある。生涯学習課の鶴山塾管理運営費59千円、これは先程の学校教育部と同じマルイ・エンゲージメントキャピタル様からの寄付受納によりストーブ等を購入する費用

である。また、図書館で、国際ソロプチミスト津山からの寄付受納による図書購入費の増額で20千円。文化課の事業で津山文化センター施設整備事業170,800千円の増額で、平成32年3月までの工期で耐震補強及び大規模改修の設計と施工に係る工事請負費であり今年度の前払い金になる。なお、この契約議案については、後ほどの方ででてくるので説明する。次に減額になるが、美作国分寺跡保存整備事業で、用地購入が最終段階になったが交渉がまとまらず、来年度に繰越となり、今年度に予定していた一部を減額するもの。次に、文化課の洋学資料館管理運営事業で600千円があるが、洋学解説書籍の刊行延期による減額で来年度に行なう。

続いて、磯野計記念奨学金と津山市奨学金の特別会計第1次補正予算で、いずれも決算見込額による減額となる。

全員の挙手により原案通り可決承認

## 平成30年度当初予算について（各課）

### 概要説明

#### （学校教育部）

各課とあるが、各部単位で説明する。平成30年度教育費の予算総額は、7,712,793千円で、平成29年度当初予算と比較して11.3%の増額となっている。平成30年度当初予算は、市長選挙が平成30年2月に行なわれたため、当初では経常経費や継続事業を中心とした所謂「骨格予算」として予算編成が行われ、政策判断を有するものは6月補正で肉付けをする予定。ただ、今年度の教育費については、平成29年との比較では、785,181千円の増額となっている。これは、年次計画的に行っている小中学校等の施設整備事業、約22億円、津山文化センター施設整備事業約5.2億円、幼稚園再構築施設整備事業約10億円など、継続事業に事業費の大きな事業が多々含まれていることが主な原因である。

学校教育部の特徴的な予算を主要事業を中心に説明する。「学力向上対策の推進」「生徒指導・不登校支援の推進」「特別支援教育の推進」の3つの柱を定め、教職員が取り組める、具体的で実効性のある重点化した施策を進めているが、その中でも「学力向上対策の推進」に関しては、「確かな学力向上対策事業」として28から32にかけて取り組みを進めている。事業費の大きなものでは、32英語活動講師派遣事業で、平成32年の新学習指導要領の全面実施に向けて、平成30年度から本格稼働と同じ時間を確保し、英語教育の充実を図り、児童生徒の英語力向上や国際理解の推進等を図る取り組みを進めていく。事業費は33,496千円で、昨年度から契約方法を複数年に変更しており、優秀な人材を確保しやすい環境を整えている。ALT7人を確保するのに必要な委託料である。34、35のICT環境整備事業は、授業に活用するデジタル教科書、教員用タブレット、無線LAN、プロジェクター等の整備費用である。平成30年度の事業費は、小中併せて、53,089千円になる。ICT環境整備計画に基づく整備で3ヶ年計画の2年目になる。1年目はモデル校5校で課題を確認しながら事業実施を図ってきた。2年目にあたる平成30年度は、中学校の残り6校と小学校10校の導入を行う。3年目平成31年度に機器整備を完了する予定。学力の向上を目指すとともに教職員の働き方改革に寄与する。

次は、42小学校整備事業、51中学校整備事業、事業費は併せて2,225,566千円。この事業は、築30年以上経過する老朽化施設の基本的機能の回復、トイレの洋式化等の整備などを実施する。平成30年度は大規模改修工事9校、空調施設整備16校、実施設計5校に取り組む予定である。

その他の事業については、骨格予算編成ということもあり、基本的に政策判断の必要な事業は6月補正で肉付けが行なわれる予定である。資料6-2-2の概要欄等を後にご覧いただきたい。

つぎに15ページ債務負担行為になる。この中で、学校教育部は、施設整備事業1件で、大崎、新野、勝加茂を2ヶ年で施設整備する事業に設定している。

#### （生涯学習部）

続きまして、生涯学習部所管の説明をする。73から75は、旧妹尾銀行林田支店を現在改修しており、10月にはアート・デザインにぎわい拠点としてオープンする予定で、それに係る備品購入費、指定管理料、多言語案内板作成委託料をあげている。75インバウンド等観光誘客環境整備事業だが、この言葉が93、94、126にある。それぞれ、箕作阮甫旧宅、津山城跡、洋学資料館、衆楽園等に、Wi-Fiスポットを整備し、多言語による翻訳、音声データを作る事業を平成30年度に行なう。111公民館整備事業は、二宮公民館の改築に係る工事費で、130,831千円計上している。こちらも、後ほど工事請負の契約議案の方で詳しく説明する。114図書館管理運営事業（臨時）で、この4月で開館40周年を迎える図書館だが、5月19日に図書館総合展を開催する講師謝礼金等で100千円。118津山文化センター施設整備事業、文化センターの耐震補強・大規模改修にかかる設計・工事請負費等で平成30年度の支出520,299千円で、後ほど、工事請負議案で説明する。121登録有形文化財・旧津山市庁舎改修整備事業、

これは、郷土博物館の耐震改修工事に係る実施設計委託料20,025千円。122市史編さん事業で、資料編「考古」の版下作成までを考えており、12,613千円。130スポーツ大会・合宿誘致事業、これは平成29年度まで大会と合宿にそれぞれ分かれた制度だったが、30年度から1本化し、かつ補助する対象を年齢・競技種目を問わず、津山市が管理している施設を使用するものであれば補助対象にする予算5,000千円の要求。148勝北総合スポーツ公園管理運営費でプール起流ポンプ取替修繕1,000千円。次に、津山市磯野計記念奨学金特別会計、津山市奨学金特別会計、それぞれ5,634千円と9,217千円の予算案である。

つぎに債務負担行為二宮公民館整備事業で、旧公民館の解体工事4,200千円で債務負担を要求している。津山文化センター管理運営事業と久米総合文化運動公園市民プール管理運営事業の2つについては、指定管理の期限がそれぞれ30年度末までとなるため、次の管理者を選定するためにここで指定管理料について債務負担を行い、事業者を選定していく。文化センターは、次の指定期間を平成31年度から平成35年度の5年間、久米のレインボープールについては、平成31年度から平成33年度までの3年間の指定管理を考えている。

#### (こども保健部)

55から60の幼稚園費になる。56幼稚園一般管理費で、公立幼稚園運営費77,888千円、57幼稚園預かり保育事業は主要事業で、東幼稚園・鶴山幼稚園・加茂幼稚園で預かりを実施している嘱託・臨時職員の人件費になる。58幼稚園特別支援対策事業は、北小・西小で運営している通級指導教室の嘱託職員等経費、現在嘱託職員2名と正職2名で運営しているが、定住自立圏連携事業で、4月から嘱託職員1名を周辺4町の分担金で雇用して実施する。59幼稚園再構築施設整備事業は主要事業で、東西に新築する2園の整備事業の経費1,057,147千円で、設計・造成・建築費・備品等の整備費になる。60はワイワイまつり等に係る経費である。

#### (学校教育部)

債務負担行為で説明が洩れていた。草加部学校食育センター給食配送業務委託を学校教育部で持っている。その際の債務負担行為設定をお願いしているところである。

全員の挙手により原案通り可決承認

#### 津山市公民館条例の一部を改正する条例について(生涯学習課)

##### 概要説明

津山市佐良山公民館一方南分館を廃止するもの。一方南分館は、地元町内会の方が、地域の公会堂として使う。その譲渡について協議が整い、この度、施設の廃止を行うもの。一部改正の条例が議会で承認された後、施設の譲渡についての契約を行なう。

全員の挙手により原案通り可決承認

#### 津山文化センター耐震補強及び大規模改修工事 工事請負契約について(文化課)

##### 概要説明

工事名は、津山文化センター耐震補強及び大規模改修工事。工事場所は、津山市山下地内。契約金額は、1,707,480,000円。工期は議決の日から平成32年3月13日まで。契約相手方は、三井住友建設(株)・梶岡建設(株)・(株)田村工務店津山・大旗連合建築設計(株)特定建設工事共同企業体で、代表者は、三井住友建設株式会社岡山営業所所長柳川昭信。

全員挙手 - 原案通り可決承認

#### 津山市西エリア幼稚園・二宮公民館複合施設新築工事 工事請負契約について(こども課・生涯学習課)

##### 概要説明

津山市西エリア幼稚園・二宮公民館複合施設新築工事について契約を締結するもの。工事名は、津山市西エリア幼稚園・二宮公民館複合施設新築工事で、工事場所は、津山市二宮地内。契約金額は、749,170,080円。工期は、議決の日から平成31年3月13日までで、契約の相手方は、(株)五月工建・坂本建設(株)特定建設工事共同企業体。工事概要は、木造平屋建、床面積1,758㎡で、公民館部分が414㎡・幼稚園が1,344㎡。契約金額は、749,170,080円となるが、幼稚園部分が、590,544,102円、公民館が158,625,978円。

全員の挙手により原案通り可決承認

### 津山市東エリア幼稚園新築建築工事 工事請負契約について（こども課）

#### 概要説明

津山市東エリア幼稚園新築建築工事について契約を締結するもの。工事概要は、木造平屋建、床面積1,404㎡。工事名は、津山市東エリア幼稚園新築建築工事で、工事場所は、津山市高野本郷地内。契約金額は、495,358,740円で、工期は、議決の日から平成31年2月28日までで、契約の相手方は、(株)五月工建・(株)山本工務店特定建設工事共同企業体。この契約は、建築工事の部分となり、この他に機械設備・電気設備の工事を別途発注するが、150,000千円の予定価格とならないため、議決案件にはならない。入札もこれからとなる。

全員の挙手により原案通り可決承認

### (3) 報告

#### 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について（学校教育課）

#### 概要説明

今年度実施した小学校5年生、中学校2年生の調査結果となる。津山市に色を付けている。黒い背景で白文字は全国・県平均ともに上回っている。網掛け黒文字は国又は県平均を上回っている。背景がまっ白のものは、津山市が下回っている。これによると、小学校は、8種目中7種目で全国又は県平均を上回っている。小学校の男子の県平均は全国21位、女子全国28位。その中で、津山市の男子は8種目中7種目、女子は6種目で県平均を上回っており、かなりいい結果である。

続いて、中学校だが、これも同じように黒い背景で白文字ものが目立つが、良い状況である。中学校の岡山県の状況は、男子女子ともに全国13位で、全国に比してもかなり高い状況である。津山はさらにその上をいっており、いい状況が続いていると言える。ただ、種目別に見ると、小学校中学校を縦で見ると、20mシャトルランのところが、白い背景が多い。いわゆる持久力を有する運動については、今後も改善が必要との結果が見られる。これは、数年続いている状況で、今後もしっかり考えていかないといけない。次ページに平成25年から本年度までの結果の推移を折れ線グラフで示している。当然、年度ごとに違いはあるが、中学校については、概ね右側に向かって上がっている状況で、特に中学校女子については、上がっている。ただ、小学校の状況は、全国や岡山県よりは高いが、少しずつ下がってきている状況がここ何年か見られる。運動を楽しみながら体力をつけていくことを経験させることが必要かなと思う。本市においても、リズムジャンプの取り組み、県が行っているチャレンジランキングという様々な種目を集団で楽しみながらやっていくことを紹介しながら力を入れているところだが、様々な機会を通じながら、子ども達が運動に触れる・楽しむことを続けていきたいと考えている。

#### 調べる学習コンクール津山市推薦作品の全国審査結果について（図書館）

#### 概要説明

今回の全国応募者数は91,662作品になる。津山市から26作品で、その中から、上位2作品を審査会に応募したが、残念ながら佳作であった。全国表彰作品数は、文部科学大臣賞他入賞33作品・3団体、これは、年代で優秀な作品、上位1作品になる。あと、優良賞、奨励賞、最後が佳作になる。津山市から応募したものは、この佳作にあたる。

#### 津山市スポーツ大会・合宿誘致事業補助金について（スポーツ課）

#### 概要説明

現行制度は、合宿とスポーツ大会に分けて、合宿については、平成27年度から、スポーツ大会については28年度から試行というかたちで進めていた。1名に対し1,000円の宿泊費補助を行い、宿泊者・交付金額ともに目標を前後する実績があがってきた。試行期間を経て検討の結果、2つの補助金を統合するかたちで平成30年度から行っていきたい。2番にその概要を書いているが、(1)目的として、競技力の向上、施設の利用拡大、交流人口の増加、津山市のスポーツ施設を利用して2日間以上の大会や合宿を開いていただき、その方々が、市内の宿泊施設に合宿であれば延べ10人以上、大会であれば100人以上の規模で開催していただいたら補助金を交付するもの。(2)適用範囲を書いているが、個人ではなく開催団体へ交付。競技種目を問わず、一般成人に範囲を拡大と記載しているが、従来は、人口芝生化したサッカー場の利用拡大をやっていたので、施設をそこに特定していた。対象も高校生以下にしていたが、そういったものを取っ払い、施設、競技種目、一般成人も含めて範囲を広げたい。最低利用人数は合宿については10人以上、大会については、100人以上のある程度大規模なものにしている。補助金額については、早見表を載せているが、1人1,000円を基準に10人刻みで額を決めている。1回の上限

は30万と定めたい。

### **勝北総合スポーツ公園プール事故に伴う損害賠償について（スポーツ課）**

#### **概要説明**

この件については、心配、ご迷惑をおかけした。過去のことはなっているが、まだ、示談が済んでいなかった。事故内容としては、平成28年7月10日に勝北スポーツ公園のロックスライダーに釘が突出し、そこを滑った3人の方が怪我をされ、ニュースにもなったもの。被害者は3名おられた。小学校女子児童 男子保育園児については、その年の秋には示談が成立していたが、最後の真庭市の小学2年男子児童については、治療にかなり時間がかかり、整形的なものも発生した。治療がなかなか終了しなかったため、1年半ほどかかっていたが、さる1月15日に示談が成立し、3件の賠償額が確定した。損害賠償については、全国市長会の賠償保険での対応となり、賠償金の支払いは、市の予算から支払、全ての事務が終了後に34万程度を市民総合賠償補償保険から歳入になって完結する。このことについては、これを教訓として、万全の監視体制等をとっており、今後も続けてまいりたい。ご心配をおかけした。

### **平成30年度公立幼稚園運営体制について（こども課）**

#### **概要説明**

平成30年度公立幼稚園の園児数について、平成30年2月1日時点のものを記載している。今後、状況によっては、人数等変更となる場合はあるが、現在166名でのスタートになる予定。平成29年度は218名だったため、52名の減少になる。平成30年度の学級編成については、津山市立幼稚園の設置及び編成基準に関する規定により、1クラス運営になるのは、院庄幼稚園、佐良山幼稚園、高田幼稚園、清泉幼稚園、二宮幼稚園、加茂幼稚園の6園となる。

また、認定こども園の幼稚園利用については、昨年度と比べて10名程度の増となる見込み。幼稚園の保護者に話を聞くと、東西新しい園ができるので、4歳児で入園すると転園があるため入園を避けられた方、それでも公立に行きたいと入園を希望された方もおられる。東西の新園開始に向けて、未就学の子どもさんの取り込みを行い、新園の入園に繋げていきたい。

## **7. その他**

### **(1) 各課からのお知らせ**

#### **ネーミングライツについて（スポーツ課）**

#### **概要説明**

昨日、発表をしている。カンダグループサッカーラグビー場のネーミングライツが3年間となっており今年度で切れる。新たに公募したところ2件応募があった。4月1日から変わり、名称は、ワードシステムフィールドである。落札価格は85万円で、消費税が入るので、少し金額は変わる。前は80万円であった。ワードシステムは、市内の鍛冶町にあるコンピューター会社である。今回、競合するぐらいで、ありがたい。4月からはワードシステムフィールドの名前を耳にされると思う。よろしく願います。

### **第36回津山市文化財調査報告会について（文化課）**

#### **概要説明**

毎年行われているが、今回は3月17日にリージョンセンターで行われる。文化調査報告会で、その年の発掘調査の成果、研究成果を発表している。今回、津山市の文化財のマスタープランになる歴史文化基本構想を、今年から3年かけて作成している。それに関係して、チラシの裏面に記載しているが、詳しい方の基調講演とトークセッションを行いたい。文化庁の調査官で、この歴史文化基本構想の担当である岡本調査官、津山市歴史文化基本構想の審議会委員でもある尾崎先生に、この歴史文化基本構想にまつわるお話を伺う機会としたい。ご参加をお願いする。

### **(2) 次回定例会の開催について**

教育委員会会議3月定例会を平成30年3月22日(木)午後1時30分から開催。  
全員賛成により決定

### **(3) その他（なし）**

8. 閉会  
(15 : 02)